

令和5年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立上向台小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	<p><知識・技能> (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 1三【川村さん】の文章の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)</p>	43.0% (都 - 13.7)	<p>知識及び技能の「(2)情報の扱い方に関する事項」に関する項目のうち、「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるか」、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する項目のうち、「文章の種類とその特徴について理解しているかどうか」をみる問題が全国平均よりも上回っている。文章を読み、丸で囲んだり、線をつないだりして整理するなど、語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりする経験や、学習を振り返り、自分が書いた文章の特徴をまとめたりする指導を行ってきた成果であると考えられる。</p>	<p>同じ読み方をする漢字を注意して使うことに課題がある。問題にあるような「意外」、「以外」などの同音異義語に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くように指導していく。</p>
	<p><知識・技能> (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 3三敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する</p>	46.7% (都 - 13.5)	<p>また、思考力、判断力、表現力等の「C 読むこと」の「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうか」をみる問題も全国平均よりも上回っている。複数の本や資料を読み、自分の考えをまとめることなどの指導を行ってきた成果と考えられる。</p>	<p>日常生活の実際の場面を通して、尊敬語と謙譲語について理解できるように指導する。また、インタビュー後等の振り返りの場面で、敬語が使えていたかどうかを確かめるなど、言葉遣いについて確認する活動を学習の中に取り入れていく。</p>
	<p><思考・判断・表現> B 書くこと 1二【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く</p>	22.2% (都 - 6.7)		<p>図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。伝えたいことを明確にし、分かりやすくするためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを児童が考えられるようにする。また、それぞれの図表やグラフの特徴や優れている点について、他教科等と関連して指導する。</p>
	<p><思考・判断・表現> A 話すこと・聞くこと 3-(2)【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する</p>	70.0% (都 - 6.0)		<p>必要なことを質問しながら聞くことに課題がある。インタビュー等をする際に、どのような目的で聞くのか、自分が聞きたいことは何かなどをよく確かめて聞くことができるようにする。また、相手の話の中に、目的に関わる言葉が出てきたときには、その言葉を取り上げて詳しく聞くなど、分からない点や確かめたい点などを質問するという視点を指導していく。</p>

算数	<p><知識・技能>D データの活用 4(4)二次元表から、条件に合う数を読み取る</p>	<p>53.3% (都 - 13.9%)</p>	<p>「C 変化と関係」領域の「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうか」、「百分率で表された割合について理解しているかどうか」をみる問題では、全国平均を上回っている。 伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を読み取り、比例の関係かどうかを説明する場面を取り入れたり、日常の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量の関係に基づいて理解できるように指導したりしてきた成果であると考えられる。</p>	<p>二次元の表から、導き出した結論の根拠となる数を読み取ることができるようになることに課題がある。 目的に応じて分類整理した二次元の表から、結論を導き出したり、その結論について話し合ったりする活動を取り入れる。また、二次元の表から、どの項目や数に着目して結論を導き出したのかを説明したり、他者が導き出した結論について、二次元の表のどの数が根拠になっているのかを読み取ったりする活動を取り入れるようにする。</p>
	<p><知識・技能>A 数と計算 3(3)加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする</p>	<p>62.2% (都 - 12.8%)</p>	<p>「B 図形」領域の「台形の意味や性質について理解しているかどうか」、「正三角形の意味や性質について理解しているかどうか」、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうか」をみる問題では、全国平均を上回っている。</p>	<p>加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることに課題がある。 計算の順序についてのきまりや計算に関して成り立つ性質について理解し、計算に習熟したり、計算を工夫したりすることができるように指導する。 また、同じ場面を異なる二通りの捉え方をして、それぞれの捉え方に対して式で表し、それらが同じ場面を表しているのだから答えが同じになることを理解できるようにするなど、指導を工夫していく。</p>
	<p><知識・技能>A 数と計算 1(4)一の位が0の2位数について、乗法の計算をすることができる</p>	<p>71% (都 - 10.6%)</p>	<p>図形の観察や操作活動を通して、図形の意味や性質を考慮することができるような指導を積み重ねてきた成果であると考えられる。</p>	<p>一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算を確実にできるようにすることに課題がある。 計算した後は、問題場面に戻って妥当かどうか判断する指導を行っていく。</p>
	<p><思考・判断・表現>C 変化と関係 1(3)伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる</p>	<p>52.6% (都 - 9.1%)</p>	<p>「A 数と計算」領域の「(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考慮することができるかどうか」をみる問題では、全国平均を上回っている。 筆算を具体物や図と関連付けて考察したり、具体物の操作や、図で考えた結果を式に表したりすることで、筆算を式と関連付けて考察できるように指導してきた成果であると考えられる。</p>	<p>伴って変わる二つの数量について、変化の規則性を基に筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることに課題がある。 変化の規則性について、答えや計算の仕方だけを説明するのではなく、求め方について、表などを用いて説明できるようにする。</p>